

棚田で米作り 参加者を募集

丹沢自然塾、来月から

神奈川県丹沢山ふもとの美しい棚田で米作りをしませんか。NPO法人自然塾丹沢ドンは、二〇二〇年「丹沢自然塾」の参加者を募集している。

復元した自然豊かな棚田は同県秦野市名古木地区にある。四月十一日に開講し、種まきからスタート。五月に田植え、九月にカマで稲刈り・ハザ掛けで乾燥し、

十一月に収穫祭を行う。ほかに田んぼの生き物や山野鳥の観察、新ソバの手打ちなど来年二月の修了式まで全十の体験教室がある。丹沢ドンはことしで二



十九年目。名古木地域の自然や生き物たちを知り、地域の伝統的な農村風景を次世代へ継承する意味を再確認しながら活動に取り組む。昨年十二月、第十一回「関東・水と緑のネットワーク」(日本生態系協会など主催)に選定された。棚田にはイノシシなどの被害対策のため電気柵を設けているが、スズメの大群が稲穂をついばむ。シカが

カマで稲刈りする丹沢自然塾の参加者たち(神奈川県秦野市で(昨年の様子、片桐務さん撮影))

柵を乗り越えてソバの実を食い荒らすこともある。

同会の片桐務理事長(七〇)は「野生動物と人間の争いは絶えないが、自然との良い関係、付き合い方も考えてみませんか」と話す。

棚田へは小田急線秦野駅からバスを利用。募集は三十人(先着順)。入会金大人三千元(高校生以下無料)、各回の参加費五百円、収穫祭千円。参加申し込みは丹沢ドンのHPから。問い合わせは金田さん(090-6470)2850(昼間)へ。(野呂法夫)